


第8号様式（第9条関係）

武蔵野市生涯学習事業費補助金事業実績報告書

武蔵野市長 殿

武蔵野市生涯学習事業費補助金の交付決定を受けた事業について、武蔵野市生涯学習事業費補助金交付要綱第9条の規定により、添付書類を添えて、下記のとおり報告します。

記

報告年月日	令和6年3月4日
団体名	ジモッピーネット
代表者の肩書及び氏名	代表 
事業名称	未来をひらく学び Part2—市民活動の若き担い手たち—
事業目的	ワークショップとシンポジウムを通して、若い世代が市民活動（ボランティア活動）で楽しく学んで成長する条件を探ること。そして、その結果を報告書にまとめて、市民の学習教材にすること。
事業対象 ※主な対象者、定員等を記入すること。	シンポジウム：高校生～高齢者（定員50名） ワークショップ：高校生～高齢者（定員30名）
実施日時 ※日時、時期、期間、時間、回数等を記入すること。	シンポジウム（1回）：9月23日（土・祝）午後2～4時 ワークショップ（1回）：10月22日（日）午後2～4時
実施場所 ※施設、会場、地域等を記入すること。	シンポジウム：かたらいの道市民スペース（三鷹地域） ワークショップ：武蔵野芸能劇場小ホール（三鷹地域）
参加者から徴収した費用等 ※金額、単位（人・組・回）等を記入すること。	参加費無料
事業内容 ※テーマ、形態（教室・講座・講演会等）、講師・指導者等がある場合はその氏名、略歴等を含めて具体的に記入すること。	○シンポジウム：「未来をひらく学び Part2—市民活動の若き担い手たち」（コメンテーター（講師に相当）：森本扶氏＝東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学、現在埼玉大学非常勤講師、「子ども白書」編集委員長） ○ワークショップ：「多世代でつくる市民活動 アイデアワークショップ」（講師無し）
募集、広報 ※事前申込みの有無、申込方法（ハガキ・電話等）、ちらし・ポスター・ダイレクトメール等の配付枚数及び配付場所、時期等を具体的に記入すること。	事前申込有／申込方法：Googleフォーム、e-mail、TEL／媒体（シンポジウム、ワークショップとも開催1か月前より配布等）：チラシ（シンポジウム1,500枚、ワークショップ700枚）（配布は市内高校5校、成蹊大学ボランティア支援センター、武蔵野プレイス、市民会館、コミセン16館、市役所市民協働サロン、かたらいの道市民スペース、武蔵野芸能劇場、境地域のスーパーマーケット、武蔵境駅、境商連ラック）、武蔵野プレイス市民活動情報ステーション、各種SNS、メール拡散、口コミ
成果、効果 ※参加者、実施団体、市等への効果等を記入すること。	参加者は、多世代で市民活動に取り組むときの課題を学ぶことができたと思われる。ジモッピーネットにとっては、新たなネットワークが形成できた。市に対しては、若者の市民活動を活性化し、まちづくりに若い力を活かすための視点を提供することができた。

注

- 1 本様式に書き切れない場合は、別紙（A4サイズ、様式自由）を作成し、添付してください。
- 2 ちらし、当日の資料等があれば添付してください。

添付書類

- 1 武蔵野市生涯学習事業費補助金事業決算書（第9号様式）
- 2 補助事業に係る領収書等
- 3 その他市長が必要と認める書類